

「基礎・基本」定着状況調査について

広島市立舟入小学校

校長 花本 和彦

広島県内の小学校 5 年生全員を対象にした「基礎・基本」定着状況調査が 6 月 14 日に実施され、その結果が先日公表されました。

本校では、教科・生活に関する調査を分析し、今後の指導に役立てていきたいと思っております。

1. 国語について 通過率 県平均 78.5% 市平均 76.2% 舟入小平均 78.8%

	通過率	解答の状況	今後の指導の重点
聞くこと	県 83.5% 市 82.5% 本校 79.4%	○話の内容はきちんとメモをとり、理解しています。 ○話の要点をまとめるとなると、苦手とする児童が多く、無回答が目立ちました。	○自分の書いたメモから、それを整理して活用していけるように、11 月から月に一回「聞き耳タイム」を設け、話の要点をまとめ聞き取る力を育みます。
書くこと	県 87.9% 市 86.5% 本校 91.8%	○資料を読み取って、書く内容を選ぶことは、ほとんどの児童ができていました。 ○問題の条件に合わせて文章を構成することも 8 割以上の児童ができていました。	○自分の考えを明確にし、段落相互の関係を考えることで、わかりやすく伝わる文章になることを指導していきたいと思えます。
読むこと	県 77.3% 市 77.3% 本校 78.3%	○叙述をもとに場面の移り変わりを読み取ることはできていました。 ○人物の気持ちを読み取る問題で、誤答が多くみられました。	○物語文では情景や人物の心情を想像して読む力、説明文では文章の構成をつかむ力を育てていきたいと思えます。
言語事項	県 74.5% 市 72.6% 本校 74.5%	○ローマ字については書くことの方が苦手なようです。 ○主語と述語などの文の構成関係をとらえていない児童が多かったようです。	○パソコンのローマ字入力を指導し、定着を図ります。 ○日ごろから音読指導のときに主語と述語を明確に指導していきます。

2. 算数について 通過率 県平均 77.8% 市平均 76.2% 舟入小平均 76.6%

	通過率	解答の状況	今後の指導の重点
数と計算	県 81.7% 市 80.7% 本校 82.2%	○基本的な四則計算については、よくできていました。除法が無回答の児童と小数の位をそろえて計算することが苦手な児童が少しいます。	○今後ともドリル学習や演習を継続し、復習的な内容の家庭学習などを出し、計算力を伸ばしていきたいと思えます。
量と測定	県 65.2% 市 63.0% 本校 62.0%	○身近な物の量を単位で表現できません。 ○複合図形の面積では、県平均を 25 ポイント上まわっています。算数の取り組みの成果だと思えます。	○長さや重さ、かさの単位の基本的な内容の定着を図っていきます。 ○今後とも授業の中で、具体物を操作する活動を継続していきます。
図形	県 74.3% 市 70.9% 本校 67.3%	○図形の辺や面といった部分をとらえることはできていました。 ○図形の定義の理解ができていませんでした。	○それぞれの図形の特徴や性質をしっかりと定着させていきます。 ○いろいろな条件での作図練習を増やし、定着を図ります。
数量関係	県 86.0% 市 85.4% 本校 88.1%	○（ ）を用いた式や四則計算はできていました。 ○表やグラフを読み取る問題はできていました。	○（ ）の使い方や 1 つにまとめることの意味を理解させ、演習問題に取り組んでいきたいと思えます。

3. 生活と学習に関する意識・実態について

調査結果から見られる子どもの姿	重点的に取り組む項目
<p>【生活などに関する調査】</p> <p>○ほとんどの児童が基本的な生活習慣が確立されています。特に、朝ご飯を食べる児童は 97.3%と高い数値でした。</p> <p>○努力すれば、自分はたいていのことができると思います、将来の夢や目標を持って、学校へ行くのは楽しいと感じている児童が多いようです。</p> <p>○本を読むことが好きな児童が多く、学習に利用できる児童も 6 割います。</p> <p>○約 8 割の児童が、新聞やテレビのニュースを見て社会の出来事に関心を持っています。</p> <p>●地域や子ども会の行事にはあまり参加をしていないようです。2 割の児童は全く参加をしていませんが、昨年より 4 割よりは向上しています。</p> <p>●普段の家庭学習の時間は、約 6 割が 1 時間以内と少なく、読書にあてる時間は 1 週間に 1 時間以内の児童が約 6 割です。一方、6 割の児童が毎日 2 時間以上テレビやゲームに費やしており、学習や読書にあてる時間と相関関係にありました。</p> <p>【学習に関する調査】</p> <p>○学習したことを生活の中で利用して、将来、仕事や生活の中で役に立つと思っているようです。</p> <p>○学習を最後までやり遂げ、できた喜びを感じ取っている児童が多いです。また、もっとわかりたいと思いつながりながら学習をしている児童も多いです。</p> <p>●自分の考えを具体的な例を挙げ、順序よく話せる児童が県平均より 10 ポイント高いのですが、反面、自分の考えや意見を言うのは苦手だと感じている児童もいます。</p> <p>●授業の予習をすることや計画を立てて学習を進めることがあまりできていないようです。</p> <p>【教科の学習】</p> <p>— 国語 —</p> <p>○「話す・聞く」の項目で、県平均を大きく上回っており、よく考えながら話したり、聞いたりできているようです。</p> <p>●辞書でわからない言葉や漢字を調べる習慣のない児童が 4 割いました。</p> <p>— 算数 —</p> <p>○ほとんどの児童が算数で学んだことが生活の中で役に立つと感じているようです。</p> <p>○自分の考えや解き方と比べながら、友達や先生の説明を聞いています。</p> <p>●少人数での学習が、理解につながると感じている児童が 4 割弱しかいません。</p>	<p>○地域行事などについて、情報を与えると共に、学校からも呼びかけをして参加を促していきたいと思えます。</p> <p>○家庭での過ごし方については、生活リズムカレンダーをもとに保護者と協力をしながら、今後とも生活習慣を身につけさせていきたいと思えます。</p> <p>○テレビ視聴、読書、学習、睡眠の時間などについて、家庭でも話をしていただきたいと思えます。</p> <p>○家庭学習では、授業の復習が十分にできる内容と量を出し、家庭学習の定着を図りたいと思えます。</p> <p>○本を好きな児童が多いのですが、家庭での読書時間が取れていない状況なので、学校での読書の時間を大切にしていきたいと思えます。</p> <p>○お互いのよさを認め、高まり合おうとする集団作りに努め、より好ましい人間関係を育て、お互いの意見を言いやすい雰囲気作りに努めます。</p> <p>○予習や復習の方法の手立てを指導していきたいと思えます。</p> <p>○児童に単元や授業の流れなどをつかませ、学校でも計画を立てて学習に取り組むことを指導していきたい、家庭学習につなげたいと思えます。</p> <p>○分かりたいという主体的な気持ちを大切にして、学習に取り組もうとする態度を育てていきたいと思えます。</p> <p>○国語科の学習は全ての教科に関わっているととらえており、言語活動を工夫しながら、聞き取りの指導を重ねていきたいと思えます。</p> <p>○日々の学習の中で、辞書を使う習慣をつけていきたいと思えます。</p> <p>○今後とも「つなぐ・もどす」を大切にした授業を続けていきたいと思えます。</p> <p>○操作活動を多く取り入れ、自分の考えをしっかりと持てる機会を増やしていきたいと思えます。</p> <p>○自分の考えを伝える場面として、少人数の学習を活用していきたいと思えます。</p>